

# 令和元年度 敬老事業に関するアンケート

町内会（区）名（ ） 回答者氏名（ ）

## 今後の富士市の敬老事業のあり方について

敬老事業対象者は、今後も増加していくことが見込まれ、現状の敬老事業を継続すると、敬老会主催者（富士市・富士市町内会連合会・富士市社会福祉協議会）の経費負担は、更に大きくなることから、経費増加の抑制を検討する必要があります。

このことを前提に以下の問いにお答えください。

### ■敬老会の開催運営について

富士市では、77歳以上の方を対象に、年1回町内会（区）の各地区の実情に合わせて、以下の3つの開催方法で敬老会を行っています。

- ・会場型（地区全体で、小学校や社会福祉センター等で開催）
- ・分散型（町内会ごと公会堂等で開催）
- ・一部分散型（数町内がまとまり会場型で、他の町内は町内会ごと公会堂等で開催）

### ■敬老会の開催費用について

開催費用は、敬老会主催者の各負担により運営し、令和元年度の敬老会対象者は30,907人、敬老会の全体経費は約8,500万円となります。

（1人当たりの経費は2,730円となります）

〔問1〕 今後の敬老会のあり方について、あなたのお考えをお答えください。（○は1つ）

- 1 現状のままでよい（全体の経費は増える）
- 2 対象年齢は今のまま1人当たりの経費を引き下げ、現在の全体経費内で運営する
- 3 1人当たりの経費は今のまま対象年齢を引き上げ、現在の全体経費内で運営する
- 4 対象年齢や運営方法を見直し、全体経費を削減する
- 5 廃止してもよい
- 6 わからない
- 7 その他（ ）

〔問2〕 敬老会の対象年齢の設定は、何歳くらいが適当だと思いますか。（○は1つ）

- |         |             |         |
|---------|-------------|---------|
| 1 65歳以上 | 4 77歳以上（現状） | 7 90歳以上 |
| 2 70歳以上 | 5 80歳以上     | 8 その他   |
| 3 75歳以上 | 6 85歳以上     | （ ）     |

〔問3〕 敬老会の開催方式は、どのような方式がよいと思いますか。(○は1つ)

- 1 対象年齢の方のみで、市内一括で行う (成人式のような方式)
- 2 地区単位で行う (現状の「会場型」方式)
- 3 町内会単位で行う (現状の「分散型」方式)
- 4 わからない
- 5 その他 ( )

■敬老祝金支給事業について

77歳、80歳、90歳、99歳の方を対象に、5,000円を贈呈しています。  
(令和元年度の富士市の敬老祝金予算は、約3,200万円です)

■米寿記念品支給事業について

88歳の方を対象に、「肖像写真」「大座布団」「地場産品詰合せ」の中から1品を選択していただき、贈呈しています。  
(令和元年度の富士市の米寿記念品予算は、約1,200万円です)

〔問4〕 今後の敬老祝金支給事業について、どのように思いますか。(○は1つ)

- 1 現状のままでよい
- 2 祝金の対象年齢は今のままで、祝金の金額を引き下げる
- 3 祝金の対象年齢を引き上げ、祝金の金額は今のままでよい
- 4 祝金の対象年齢を引き上げ、祝金の金額は引き下げる
- 5 廃止してもよい
- 6 わからない
- 7 その他 ( )

〔問5〕 今後の米寿記念品支給事業について、どのように思いますか。(○は1つ)

- 1 現状のままでよい
- 2 記念品の選択肢を増やす
- 3 記念品の選択肢を減らす、または1品に限定する
- 4 代替りのものがよい ( )
- 5 廃止してもよい
- 6 わからない

〔問6〕 100歳長寿祝(10万円・花束・賀詞)についてどのように思いますか。(○は1つ)

- 1 現状のままでよい
- 2 拡大する
- 3 縮小する
- 4 廃止してもよい
- 5 わからない
- 6 その他 ( )



